

日本労働年鑑 第58集 1988年版
The Labour Year Book of Japan 1988

第三部 労働組合の組織と運動

V 国際労働組合運動

概況

☆ 一九八七年は、日本の労働組合組織の「連合」結成により、国際自由労連とITSへの加盟関係が再編された。また、全官公が協議体から連合体へと移行し、国際自由労連に加盟した。「連合」はCGILのTUAC加盟問題で反対に回り、加盟に賛成する総評と見解が分かれた。

☆ ベネチア・サミットに向けての労働サミットは、イタリア国内の事情により開催されなかった。

☆ 国際自由労連・国際産業別会議系の注目される会議として、国際自由労連(ICFTU)関係では、二月に世界大会テーマ検討作業委員会が開催され、八八年三月に開催される第一四回世界大会のテーマを「変化する世界の挑戦」とした。ITS関係では、ITS総会と、三つのITSによるIBM対策国際労働組合会議がそれぞれ八七年一月に開催された。FIET関係では、八月に第二一回世界大会が開催された。

☆ 世界労連系の国際労働組合会議としては、第三七回世界労連執行局会議(三月)、世界労連第四〇回総評議会(一〇月)、平和と軍縮のための国際労働組合委員会(五月)、第八回繊維・衣料・皮革労働組合インター大会(五月)第二回アジア・太平洋労働組合会議(八月)、第一〇回国際金属労働組合会議(九月)などが開催された。

☆ 国際自由労連、世界労連のいずれにも属さない国際労働組合会議として、TUAC関係では、八七年三月に第七八回総会などが開催された。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

****年**月**日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)